

2010年11月26日

印西市長 山崎 山洋 様  
独立行政法人都市再生機構理事長 様

ニュータウン開発工事に伴う亀成川源流域の生態系保全についての要望書

亀成川を愛する会  
会長 一島 正四

印西市を流れる川、亀成川の流域は、首都圏にありながら、豊かな生態系に恵まれ、オオタカ、サシバなどの猛禽類から、〇〇〇〇、〇〇〇〇などの魚類、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇などの希少水生昆虫、〇〇〇〇、〇〇〇〇などの絶滅危惧植物に至るまで、さまざまな貴重種が生息しています。特に源流域は、ニュータウン開発のため、一部造成が行われましたが、それが20年近くそのままになっていたこともあり、草地、樹林地、湿地、谷津田に絞り水がたまってできた上池（古新田川調整池の南に位置する池）など、多様な環境が連続性を持って混在しているため、生物多様性の宝庫となっています。

この亀成川の源流域において、新たにニュータウン開発工事が始まりました。しかしながら、従来型の開発計画では、豊かな生物多様性が危機に瀕することは必至です。

この地域は、ラムサール条約の候補地となっており、日本魚類学会及び日本蜻蛉学会からも、この地域の保全については、近々に要望書が提出される予定です。この観点からも保全をご検討くださいますよう要望いたします。

記

1. 古新田川最上流部の別所第2公園予定地については、池とその周囲の斜面林や草地など、現状をそのまま残し、古新田川調整池、別所緑地と一体として保全管理してください。また公園の設計及び維持管理については、市民の知恵や動力なども考慮に入れて、市民と行政の協働のまちづくりの一環としてください。

2. 亀成川及び古新田川の水源地となるニュータウン区域の開発に当たっては、樹林地や草地をできるだけ残し、土地利用に際しては、雨水涵養のための手段を講じてください。

理由

## 1 豊かな生態系と貴重種の存在

別所緑地から調整池を経て別所第2公園に至る地域は、かつては谷津田であり、谷津田から湿地及び池へと変化した過程で、とりわけすぐれた生態系が形成されています。この3つの水辺環境は、〇〇〇〇、〇〇〇〇や〇〇〇〇など、都市近郊では見ることのできない生き物の生息地となっており、池には〇〇〇〇や〇〇〇〇等の貴重種を含む多様な沈水性の水生植物が豊富に生息し、近年の水環境悪化によって衰退の一途をたどる沈水植物にとって正しく貴重な生息地です。また、斜面林には、様々な植物や昆虫や鳥類が生息し、池や湿地と行き来する生き物にとっても貴重な生息環境となっています。

生物は生活史の中で複数の生息環境を必要としています。例えば別所緑地に生息している希少な〇〇〇〇類は水域で卵と幼虫期を過ごし、羽化後、未成熟期は周辺の樹林地や草地で餌をとり、成熟すると水辺に現れて産卵するというように、一生の間に複数の環境を必要とします。川、湿地、周辺樹林地、草地が一体として存在するこの地域は、たいへん貴重な生態系の宝庫と言えます。この地域の生き物の生息環境である、樹林地、草地、湿地、池などをできるだけ残すことが、その周辺だけでなく、亀成川流域ひいては、手賀沼流域、利根川流域全体の生物多様性を確保することにつながります。

わけても〇〇〇〇は、千葉県レッドデータブックで最重要保護生物に指定されており、環境省のレッドリストでは絶滅危惧Ⅰ類として扱われている〇〇〇〇の生息する池を埋め立てることは、絶対に許されないものです。圏央道の成田市事業予定地でその生息が確認された際には、「〇〇〇〇類保全対策検討委員会」が設置され、結果橋梁への構造変換や保全対象区間の設定等が実施されました。

また、この地域の植物の貴重性に関しては、平成21年12月24日に東邦大学理学部地理生態学研究室長谷川雅美教授より『印西市別所に群生している〇〇〇〇周辺の土盛り工事の配慮のお願いと要望』（別添）が提出されています。

## 2 まちづくりコンセプト

この一帯は、国交省のまちづくり交付金対象事業として、平成22年3月に印西市が、都市再生整備計画を作成し、まちづくりの整備方針②として、周辺の自然環境を保全、活用することによる自然とのふれあい機会の増大とあります。

したがって、近隣公園として予定されている別所第2公園について、池を埋め立てることは、コンセプトである豊かな自然を活かした公園作りに反するばかりか、まちづくりの整備方針に逆行するものです。

## 3 公園造成のための埋め立て予定地の湧水の状況について

現在湿地及び沼地となっている埋め立て予定地については、東西の両岸が斜面林となっており、公園作りに際しては、その斜面林を活かす予定となっています。また、南側には原っぱが予定されています。

この地域はもともと谷津田であったことから、湧水が斜面林から豊富に湧きだしており、水文学の専門である千葉大学環境リモートセンシング研究センターの近藤昭彦教授に現状を視察していただいたところ、東西の斜面林からの湧水について、かなりの流量が確認されました。

このような目視で確認できる湧水の集水域は比較的狭く、たとえ計画通り公園の周囲が開発されたとしても、雨水を涵養する斜面林の維持管理を適切に行うことによって、湿地帯及び池としての機能を果たす流量は確保できると推定されます。また、原っぱに予定されている場所に埋め立てられている土質は、現況では、関東ローム層と砂との混合であり、雨水を浸透させる性質を有しています。

したがって、もしこの池を埋め立てると、地下水が地表に逃げ道を求めて流出することになり、乾いた土地とするための維持管理にリスクが生じることが推測されます。

#### 4 自然破壊して自然型公園を作ることについての問題

自然はいったん破壊されると元に戻すことは不可能です。復元には莫大なコストと環境負荷がかかります。欧米では、開発や大規模農業によって破壊した自然を回復させるため、莫大な予算が費やされています。おりしも、先月名古屋で開催された生物多様性条約締約国第10回会議において、愛知目標として、生物多様性の保全、持続的利用を進めるため、2020年までに生物多様性の損失を止めるための行動を起こすことがきました。また、自然を破壊してその上に再び自然型公園を作る予算の無駄については、納税者の一員として同意できるものではありません。

#### 5 自然を活かした公園と維持管理の方法

すでに述べたようにこの地域のまちづくりのコンセプトは、自然に親しむまちです。このまちに住もうという人たちは、周囲の里山の豊かな自然を求め、子どもたちとともに直接その自然に触れたいと望んでいる人が多いと想像されます。

里山という言葉が一般的になるにつれて、米作りなどの里山体験をしたいと望む市民も多くなっています。資料として数例を挙げていますが、全国各地で、里山景観を活かした公園や農業体験のできる公園が数多く見られます。

別所第2公園として予定されている場所は、里山景観を背後に持ち、湿地などの水辺環境、樹林地やはらっぱが混在しています。現状の機能を活かすことによって、自然に親しむための理想の公園ができることとなります。公園に隣接して小学校などが建設される予定ですので、子どもたちの環境教育や自然体験の場として活用することによって、美しいふるさとに誇りを持ち、感性豊かな子どもを育て、今ある豊かな自然を次世代につなげていくことができます。つまり、自然を求める住民のニーズを満たすためには、もともと存在する生態系の機能を活かすことが最良の方法と言えます。

それはまた、里山と都市機能を合わせもつ印西の魅力を最大限活かしたまちづくりにつながるものであり、北総線が成田に接続した現在、世界に誇るSATOYAMAのまちとしての大きなPRポイントとなります。

したがって、それらを楽しむ住民としても、保全のための維持管理に役割を分担

することが肝要です。行政と協議しながら、この地域の生態系を維持管理する手法を研究し、管理団体を組織するなど、行政との協働で、維持管理や保全作業に積極的に参画するシステムを作っていくことが必要です。私たち亀成川を愛する会も、全力で協力する覚悟です。

## 6 開発地域の雨水浸透

開発に伴う雨水処理については、従来の雨水用の下水管方式では、いわゆるファーストフラッシュによる水質汚染が問題となります。台地（ニュータウン開発地）に降った雨は、土中に浸透する過程で浄化され、谷津はそれが流出する場として機能していました。このことから、雨水をできるだけ土中に浸透させることによって、調整池や河川への直接流出をできるだけ防ぐことが必要です。その結果、河川の水質汚染が軽減され、生態系への悪影響も緩和します。

現在では、ゲリラ豪雨に対応する意味でも、住宅地の庭や駐車場、大規模団地や企業の緑地にも、雨水浸透のためのさまざまな設計方法が検討されてきています。

環境にやさしいまちづくりとよく言われますが、印西市が、もともとある生態系の機能を活かした健全な水循環を有する（整えた？）まちづくりの最先端都市として、まさにモデルとなる機会です。ニュータウンの開発（宅地造成の他、企業庁用地、公園、学校などを含む）に当たっては、できるだけ雨水が地下浸透するような手段を講じるとともに、実効性のある指導を行ってください。

以上

### 添付資料

保全範囲地図

当該地域の生き物調査結果

手賀沼水生生物研究会

亀成川を愛する会

古新田川流域の生物相

亀成川を愛する会

印西市別所に群生している〇〇〇〇周辺の土盛り工事の配慮のお願いと要望

東邦大学教授 長谷川雅美

印西町別所の〇〇〇〇類

阿部則雄、楠窪のり子

古新田川調整池南側池の〇〇〇〇リスト

別所第2公園造成のための埋め立て予定地の湧水について

千葉大学教授 近藤昭彦

池と湿地を活かした公園の例  
亀成川を愛する会について